



下痢をしたとき

いつもと違うウンチをしたときは、その後のお子さんの様子とウンチをよく観察してください。

水分や食事がとれ、熱もなく機嫌も良ければ、様子を見て通常の診療時間内に受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わった場合は医療機関を受診してください。

こんなときは、医療機関を受診しましょう。

熱が続き、嘔吐を繰り返す。


ひどくお腹を痛がる。

下痢が1日6回以上ある。

ウンチに血が混じっている。海苔のりのような黒っぽいウンチが出る。（写真を撮って受診の際に医師に見せてください。）

機嫌が悪く、水分をほとんどとらない。

オシッコの量が極端に少ない。

症状の相談や、夜間・休日に受診できる医療機関の案内
ふなばし健康ダイヤル24(40ページ参照)  0120-2784-37



ワンポイントアドバイス

下痢の回数とウンチの状態をチェックしましょう。
発熱、発疹ほっしんの有無を見ましょう。
こまめに水分を与えましょう。

脱水にならないように、塩分を含む経口補水液※を少量ずつ頻回ひんかいに与える必要があります。(与える量の目安はP14参照。) その後も下痢が続く場合には、下痢のつど30~100ml程度与えてください。下痢がある程度落ち着いてから、乳児なら母乳・ミルクを、離乳期以降なら淡水化物(おかゆ、うどんなど)を少量ずつ開始してください。長期の下痢も危険ですし、数時間の間に脱水症状が出現することもあります。



以下は、脱水を生じている場合の症状です。これらの症状が出現していないか十分に注意してください。

- 唇や舌が乾いている。
- 顔色が悪い。
- 皮ふの張りがなく、しわしわしている。
- 眼球が落ちくぼんで、目がトロンとしている。
- オシッコの量が少なく、色が濃い。



おしり拭きでなく、おしりの洗浄に心がけましょう。

※経口補水液・乳幼児用イオン飲料水は、薬局やドラッグストアなどで購入できます。